

威風堂々

仲間と共に最高のレースを！

地区駅伝選手激励会

西崎中学校

校長 宮城 義隆

十月二十一日(火)に今週末の土曜日に開催される島尻地区中学校駅伝競走大会の選手激励会をリモートで開催しました。女子キャプテンの翁長音衣さんから「私たち女子駅伝部は今までけが人も多かったけど、朝練や午後の練習を頑張ってきた。チームの目標はみんなでタスキを繋いで自己ベストを出した。一桁台の順位はみんなできるように頑張ります」と決意表明がありました。また男子キャプテンの大城隆之介さんから「昨年は順位が後ろのほうだったが、今年は一人一人が自己ベストを出して県大会出場を目指して頑張ります」と力強い決意表明がありました。出場する選手の皆さん、自分を信じ、仲間を信じ、最後の最後まで走りぬいてく

[illegible]

校長の独り言②④

2 才児のイヤイヤ期と中学生の反抗期

可愛い可愛い孫娘のHちゃんが間もなく2才を迎えようとしているが最近、困ったことがある。それは「イヤイヤ期」に突入したことだ。あんなに大好きだった、ミニトマトをイヤと拒絶し、白米はいいがチャーハンはいや、お外にお出かけするときに靴下を履くのがイヤ、家に帰ってきて、今度は脱ぐのがイヤ、などこれまでなんともなかったことをことごとく拒否するのである。なぜ、イヤイヤ期があるのか？調べてみると①自我と自立心の発達、②言葉による表現力の未熟さ、③感情や欲求の抑制能力の未熟さなどが主な理由とのことだった。そしてこのイヤイヤ期は成長していく上で、自立心や自己を確立するために必要なことであるとも書かれていた。一方で、多くの中学生にも反抗期がやってくる。小学生の時には親や先生に言われたことを素直に聞いていた子が、中学生になると、それらに対して、無視する、物にあたる、ひどい場合は暴言を吐くなど、反抗的な態度をとるのである。これも①心身の急激な成長による感情コントロールの不安定さ、②自我の確立と精神的な自立への葛藤などが理由らしい。そしてこの反抗期も子どもが大人に成長していく上で、必要な過程であるとのことだ。とは言え、関わっている大人はつらいものである。

ここで私なりの関わり方を紹介する。

- ①一人の人間として尊重し、信頼関係を築く
②普段通りのコミュニケーションを続ける
③感情的にならない
④ルールは明確にし、一線を越えたら叱る

保護者の皆様、そして先生方、反抗期には必ず
終わりがくる。そしていつの日か「あのときはご
めん。そしてありがとう。」の言葉を聞けること
を信じて、今日も子どもたちに真摯に向き合おう
ではありませんか…

自分の推し本を熱く紹介！

ス
ピ
リ
オ
バ
ト
ル
ス



十月二十二日(水)、ビブリオバトルを開催しました。これは限られた時間の中で自分が読んで面白かった本を思いを込めて紹介する書評合戦です。今回は山城莉純さん、大城涼葉さん、大城紅葉さん、金城雄介さん、玉城こまきさん、上原蓮杏さん、許田汐夏さんが出場し、自分の推し本の魅力を思いを込めて、プレゼンしていました。出場した皆さん、本当にお疲れさまでした。

上半期の活躍が鮮やかに蘇る！

中央階段の一

階から三階にかけて、行事や部活、日々の授業など、生徒の活躍している写真と素敵な言葉が掲示されています。これは長嶺教頭先生が思いを込めて作ってくれた作品です。掲示してくれた掲示委員、生徒会の皆さん、ありがとう！



すべての生徒・職員が**安心・充実・挑戦**している学校をめざして